

通常の学級における包摂力のある好事例

【キーワード】	授業中の立ち歩き、友達とのトラブル、支援体制
【学校、学年】	小学校 【 4 】年
【状況、様子 等】	<p>○学級の状況等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学年1クラスの小規模校だが、3年生時は複数の児童の立ち歩きや勝手な発言、対人トラブル等により、いわゆる学級崩壊に近い状態であった。 ・保護者との連携もうまく図れず、毎日、保護者数名が来校して授業に立ち会う状況であった。 ・他の学年にも授業に参加できない児童が出るなど、学校全体に落ち着かない雰囲気があった。
【対応・工夫】 支援、 合理的配慮、 基礎的環境整備、 学級経営、 支援体制 等	<ul style="list-style-type: none"> ・長時間座って話を聞くことが苦手な児童のために、ペアでの話し合い活動や立ち上がったの音読、図工で生きた蟹を見せる、和服で授業をするなど、動きのある活動や児童の興味を引く活動を取り入れた。(支援・手立て) ・学級のきまりとその理由を、学級全体で再確認した。(学級経営) ・時間になったら教室に戻れるよう、休み時間にタイマーを持たせた。(支援・手立て) ・クールダウンのためにタイムアウトを行い、落ち着いたら児童の気持ちをしっかり聞き取るようにした。(支援・手立て) ・他校の通級指導教室を利用するとともに、療育で取り組んでいるアンガーマネジメントを学校でも取り入れた。(支援体制) ・清掃活動や行事に向けた踊りの練習などに継続して取り組み、学級が一つの目標に向かって力を合わせる活動に取り組んだ。(学級経営) ・個別指導が必要なときには、理科専科の教師などが指導に入るようにした。(支援体制) ・保護者には児童たちのがんばりを、電話や家庭訪問、学級通信などで積極的に伝えた。(学級経営) ・児童発達支援センター、放課後等デイサービス、SC、SSWなど、関係機関と連携して対応を協議した。(支援体制) ・通常の学級に在籍する支援の必要な児童の理解と支援について、2年連続で職員研修を実施した。また保護者に対しても、発達障がい等に対する理解について講話を実施した。(支援体制)
【結果、変容 等】	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の私語や立ち歩きが減り、授業に参加できることが多くなった。 ・児童同士のトラブルも少なくなり、学級全体に教え合いの空気が生まれた。 ・学校全体も落ち着いた雰囲気になっていった。